2009年7月の格言

平成２１年７月の格言は

管理とは、
会社の内部の繰り返し仕事だけを
対象にしたものである。

仕事というものは
事業経営に必要であっても、
事業経営ではないのだ。

管理というものは、
仕事を円滑に運ぶためには
役に立つけれども、
その半面に必ず**「費用」を生むのだ。**

費用を上回るなんらかの成果が上がって
はじめて**「管理」は意味がある。**

事業経営の要請からすれば、
できれば**「仕事の管理」はしないで**
済ませたいのだ。

管理費がかからないからである。

しかし、現実問題として
管理しない為にロスが発生するので、
ロスの現象より少ない費用で
管理できる場合に限って、
管理した方が有利なのである。

当然のこととして、
高度な管理や、きめの細かい
管理ではなくて
「最小限管理」でなければならないのである。

一倉定先生著の社長学　第６巻　「内部体勢の確立」より